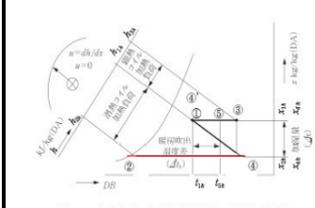
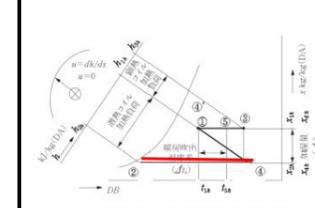


令和6年版 建築設備設計基準の正誤表について
設備設計基準 第1刷用正誤表

頁	編	章	節・項	項名称	訂正箇所	誤	正	更新日
368	4	1	2-2-7	その他の内部発熱負	技術資料	<ul style="list-style-type: none"> 一般事務室P1=15kWの例 一般事務室P1=30kWの例 	<ul style="list-style-type: none"> 一般事務室P1=15Wの例 一般事務室P1=30Wの例 	
385	4	1	2-2-11	選定図表(4)ガラス面標準日射取得I _G 、太陽高度、太陽方位	表2-15 高松、福岡、那覇	高松、福岡、那覇 ガラス面標準日射取得I _G 、太陽高度、太陽方位	高松、福岡、那覇 (別表参照) ガラス面標準日射取得I _G 、太陽高度、太陽方位	R61119
387	4	1	2-2-11	選定図表(5)夏期の見掛けの太陽高度の正接(tanφ、上段)、及び壁面に対する太陽方位の正接(tanγ、下段)	表2-16 高松、福岡、那覇	高松、福岡、那覇 夏期の見掛けの太陽高度の正接(tanφ、上段)、及び壁面に対する太陽方位の正接(tanγ、下段)	高松、福岡、那覇 (別表参照) 夏期の見掛けの太陽高度の正接(tanφ、上段)、及び壁面に対する太陽方位の正接(tanγ、下段)	R61119
460	4	1	4-3	計算式	表4-5 煙道欄	摩擦抵抗h _{f1} 局部抵抗 h _{f1} h _{f1} =λ・L/ρ _f ・V _f ² /2・ρ _f	摩擦抵抗h _{f1} 局部抵抗 h _{f2} h _{f1} =λ・L/D _f ・V _f ² /2・ρ _f	R61119
460	4	1	4-3	計算式	表4-5 煙突欄	摩擦抵抗h _{g1} 局部抵抗 h _g h _{g1} =λ・H _g /D _g ・V _g ² /2・ρ _g	摩擦抵抗h _{g1} 局部抵抗 h _g h _{g1} =λ・H _g /D _g ・V _g ² /2・ρ _g	
460	4	1	4-3	計算式	-3	V=・・・[m ³ /m ²] (表4-2参照)	V=・・・[m ³ /m ²]	
470	4	1	5-1-5	空調機の選定	(2)暖房の空気線図 図5-8全空機方式の暖房(水気化式加湿の場合)	コンパクト形空調機の選定は、表5-6～表5-10による。	コンパクト形空調機の諸元値は、表5-6～表5-10による。	
478	4	1	5-2-3	潜熱・顕熱分離形の空調機の空気線図の作図方法	(2)暖房の空気線図 図5-8全空機方式の暖房(水気化式加湿の場合) ②-④の線細線→太線			
482	4	1	5-3-4	諸元表(1)	表5-12 ファンコイルユニットの諸元(冷・温水出入口温度差7℃)	入力値 [VA]	電源容量 [VA]	
521	4	1	7-4	床置形全熱交換ユニットの算定	表7-3(b) 床置形全熱交換ユニット(静止形)の顕熱交換効率η _t 、全熱交換効率η _h	顕熱交換効率η _t 、全熱交換効率η _h	(別表参照) 顕熱交換効率η _t 、全熱交換効率η _h	R61202
523	4	1	7-6	計算式	図7-2全熱交換器概念図(回転型の例)	排気 (RA)	排気 (EA)	R61202
565	4	3	(2)	送風機全圧		P1=K・ΣP ₁ +ΣP ₁	P1=K・(ΣP ₁ +ΣP ₁)	R61119
641	5	2	2=2	技術資料	表1の記載変更下部に文章追加	表1に掲載の総合病院及び学校施設欄の記載文の削除	表1に総合病院及び学校施設欄に※を記載。表下部に※：空調・衛生工学会の提言で、「ネットゼロウォーターの実現に向けて一水の新しい単位給水量」の「総合病院」、「学校(小・中学校、高等学校)」が10月28日に学会HPで公表されました。 https://www.shasej.org/oshirase/2410/nzWB.html	

技術資料

2-2 表 2-1
参考として、庁舎以外の用途の1人当たり使用水量・使用時間を表1に示す(出典は、空調・衛生工学便覧 第11版(1987年)～第14版(2010年))。現在では、節水が進み、例えば大便器の洗浄水量は50%以上削減(図1)されている。

このため、庁舎以外の建物用途を設計する場合は、この表によるほか、設計者が計画建物の使用条件を把握し選定した衛生器具の洗浄水量を元に、最新の1人当たり使用水量・使用時間の使用実績等の情報を入力・参照して、設計者の判断で使用水量を決定されたい。

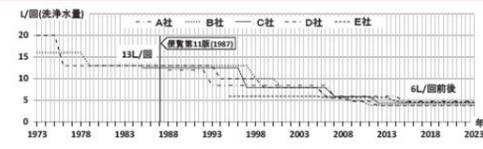
表1 建築物の用途による1人当たり使用水量・使用時間(庁舎以外)

建築物用途	使用者種別	使用人数算定方法*	1人1日平均 使用水量 [L/(d・人)]	1日平均 使用時間 [h]	備 考
戸建て住宅 集合住宅 執務室	住居者1人当たり		200~400	10	
	有物販賣店などの人員	0.16人/m ²	200~350 400~600	15 10	
総合病院	※				
宿泊施設 新都市	床数		300~450	12	
喫茶 飲食店 社員食堂	客数		20~30	10	網際で使用される水量のみ
	店舗面積1m ² 当たり		35~130	10	便所洗浄水などは別途加算する。
	客数		55~150	10	
	店舗面積1m ² 当たり		110~330	10	
学校施設	※				
	児童者1人当たり 有物販賣店などの人員	0.4人/m ²	25~50 80~140	5 6	実験・研究用などは別途加算する。 常勤者は別途加算する。

出典：空調・衛生工学便覧 第11版(昭和62年(1987年))より作成

※：2024年10月25日に空調・衛生工学会提言「ネットゼロウォーターの実現に向けて一水の新しい単位給水量」が公表されました。提言において対象とする建築用途の「総合病院」、「学校(小・中学校、高等学校)」を給水負荷計算の参考とされたい。
<https://www.shasej.org/oshirase/2410/nzWB.html>

図1 節水大便器の1回当たりの洗浄水量の変遷



出典：給排水衛生設備計画の実務の知識 改訂4版(2017年)((一般社団法人)日本レストルーム工業会資料から、現在のデータを追記)

661	5	2	7-2	表7-4	局部抵抗名称欄	玉形弁 *2 アングル弁・ 逆止弁 スイング型	玉形弁 *1 アングル弁・ 逆止弁 スイング型 *2	R70110
711	5	5	3-1	表1-3	告示区分 第12 処理性能欄	大腸菌群数 (個/m ³)	大腸菌群数 (個/cm ³)	R70203

745	5	6	6-1	一般事項	(3)	②閉鎖型ヘッドによる・・・	②開放型ヘッドによる・・・
891	8	1	1-1	構成等	(3) ⑦エ記録(印字)装置	・・・。ただし、監視操作装置に・・・	・・・。ただし、簡易形監視操作装置に・・・

別表

385 4 1 2-2-11 表2-15 ガラス面標準日射取得 I_G 、太陽高度、太陽方位(7月31日) [W/m²] R61119

地 区	高 松				福 岡				那 覇						
	時 刻	9	12	14	16	時 刻	9	12	14	16	時 刻	9	12	14	16
太 陽 高 度		45.0	73.9	60.8	36.8	太 陽 高 度	42.1	73.8	63.9	39.9	太 陽 高 度	39.9	78.7	69.0	42.3
太 陽 方 位		-81.8	-8.6	63.9	88.1	太 陽 方 位	-84.9	-21.5	60.5	86.5	太 陽 方 位	-92.7	-48.2	72.5	91.6
方 位	日陰	48	51	50	44	日陰	48	51	49	44	日陰	48	50	49	44
	水平	549	801	716	452	水平	510	801	744	497	水平	480	822	785	532
	N	48	51	50	44	N	48	51	49	44	N	50	50	49	45
	NNE	99	51	50	44	NNE	126	51	49	44	NNE	198	50	49	44
	NE	288	51	50	44	NE	322	51	49	44	NE	382	51	49	44
	ENE	432	51	50	44	ENE	453	51	49	44	ENE	483	64	49	44
	E	496	54	50	44	E	507	71	49	44	E	512	91	49	44
	ESE	486	90	50	44	ESE	487	120	49	44	ESE	466	114	49	44
	SE	402	141	50	44	SE	393	165	49	44	SE	345	122	49	44
	SSE	236	177	51	44	SSE	216	184	55	44	SSE	149	109	49	44
	S	66	181	131	45	S	55	168	134	48	S	48	83	71	44
	SSW	48	151	257	201	SSW	48	124	243	212	SSW	48	59	145	158
	SW	48	101	343	398	SW	48	74	314	406	SW	48	50	219	364
	WSW	48	59	365	508	WSW	48	51	325	511	WSW	48	50	255	489
W	48	51	322	542	W	48	51	276	539	W	48	50	241	534	
WNW	48	51	218	494	WNW	48	51	176	487	WNW	48	50	181	500	
NW	48	51	96	371	NW	48	51	75	355	NW	48	50	101	387	
NNW	48	51	50	163	NNW	48	51	49	144	NNW	48	50	51	188	

387 4 1 2-2-11 表2-16 夏期の見掛けの太陽高度の正接(tanφ、上段)、及び壁面に対する太陽方位の正接(tanγ、下段) R61119

地 区	高 松				福 岡				那 覇						
	時 刻	9	12	14	16	時 刻	9	12	14	16	時 刻	9	12	14	16
方 位	N											17.77			
												21.24			
	NNE	4.05				3.02						1.96			
		3.93				3.19						2.13			
	NE	1.67				1.41						1.13	89.77		
		1.34				1.20						0.91	17.94		
	ENE	1.16				1.02						0.89	11.52		
		0.59				0.52						0.36	2.08		
	E	1.01	23.09			0.91	9.40					0.84	6.70		
		0.14	6.59			0.09	2.53					0.09	0.89		
	ESE	1.03	6.70			0.95	4.97					0.92	5.29		
		-0.25	1.66			-0.31	1.03					-0.47	0.35		
	SE	1.25	4.30			1.18	3.76					1.24	5.00		
		-0.75	0.74			-0.84	0.43						-0.06		
	SSE	1.96	3.57	28.74		1.95	3.45	16.61				2.47	5.54		
		-1.68	0.25	16.02		-1.91	0.02	8.09					-0.48		
S	7.00	3.50	4.07	22.08	10.14	3.71	4.13	13.67			7.49	8.67			
	-6.93	-0.15	2.04	29.48	-11.19	-0.39	1.76	16.33			-1.12	3.18			
SSW		4.05	2.39	1.81		4.80	2.58	1.91			15.11	4.05	2.55		
		-0.60	0.88	2.20		-0.97	0.78	2.05			-2.85	1.19	2.61		
SW		5.84	1.89	1.02		8.67	2.11	1.12				2.94	1.33		
		-1.36	0.34	0.93		-2.30	0.28	0.88				0.52	1.06		
WSW		14.45	1.79	0.80		204.81	2.05	0.88				2.61	1.00		
		-4.05	-0.06	0.38		-59.34	-0.12	0.34				0.09	0.45		
W			1.99	0.75			2.34	0.84				2.73	0.91		
			-0.49	-0.03			-0.57	-0.06				-0.31	0.03		
WNW			2.71	0.82			3.31	0.93				3.40	0.98		
			-1.13	-0.45			-1.28	-0.49				-0.84	-0.38		
NW			5.52	1.10			7.65	1.26				5.63	1.26		
			-2.92	-1.07			-3.62	-1.13				-1.92	-0.95		
NNW				2.13				2.57				29.70	2.23		
				-2.67				-2.91				-11.37	-2.24		

521 4 1 7-4 表7-3(b) 床置形全熱交換ユニット(静止形)の顕熱交換効率 η_t 、全熱交換効率 η_h R61202

		風量比(給気風量/排気風量)			
		0.8	1	1.2	1.5
顕熱交換 効率[%]	冷 房	62.0	58.0	53.5	49.0
	暖 房	64.0	60.0	55.5	50.0
全熱交換 効率[%]	冷 房	62.0	58.0	53.5	49.0
	暖 房	64.0	60.0	55.5	50.0

- 備考(1) 給気は機器定格風量とする。
(2) 顕熱交換効率及び全熱交換効率はJIS B 8628による。